人づくりニュースレター

令和8年度
Vol.6

◆県の取組紹介

★「つながる・支える・高め合う」
家庭教育支援フォローアップ研修会

（共催）県総合教育課、県教育委員会社会教育課



県では、人づくり推進員と家庭教育支援員をはじめとする家庭教育に携わる方々を対象とした研修会を毎年実施しています。共に学び、お互いの活動内容や考え方、課題等を知り、様々な分野の視点を持ちながら連携を深めることで、多様化する子育ての悩みに寄り添う体制を整えています。

◇「掛川会場」県総合教育センター（西部）

掛川会場では、「こどもの強みに注目して伸ばす関わりとは」と題し、ウェルビーイング心理教育認定講師の内野千珠子氏に御講義いただきました。こどもの可能性を広げる視点について学びを深める貴重な機会となりました。また、森町による事例発表では、平成27年度から継続してきた家庭教育支援事業の歩みが紹介されました。現在、家庭教育支援チームが町内全ての幼稚園・小中学校で「つながるシート」を活用したグループワークを実施していることなど、町全体で家庭を支える熱心な活動報告が行われました。

▼つながるシートを活用した模擬体験





▶鈴木氏による講義の様子

◇「三島会場」三島市民文化会館（東部）

三島会場では、浜松TG研究会代表の鈴木げん氏をお招きし、「多様な性のはなし～違いを前提としたこどもとの関わりについて～」と題して御講義いただきました。性別に違和感を持つこどもの話や、多様な性の基礎知識など、誰もが自分らしく生きること、そして、そうしたこどもたちにどう寄り添うかについて改めて考える大きな契機となりました。

また、掛川・三島両会場において、家庭教育支援のグループ活動で使用する「つながるシート」を用いた模擬体験を行いました。その後に行われた情報交換会では、お互いの立場や経験を通して活発な意見交換が行われました。現場での悩みや工夫を語り合う中で連携を深め、社会全体でこどもを支える視点を改めて共有することができ、参加者一人ひとりにとって、今後の活動に役立つヒントを持ち帰る非常に充実した研修会となりました。

●編集・発行
静岡県企画部総合教育課
静岡県の人づくり